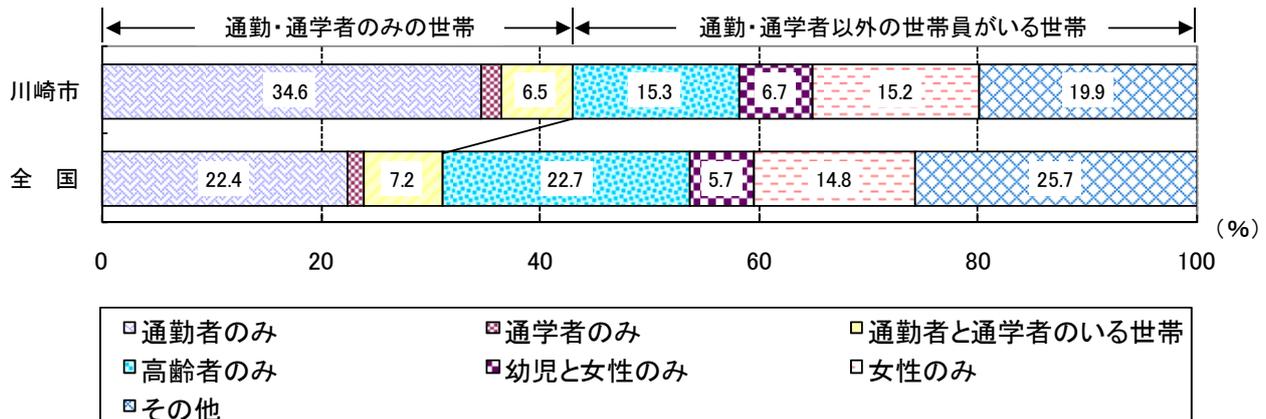


5 従業・通学時の世帯の状況

－「通勤者のみ」の世帯の割合が最も高い－

従業・通学時の状況（7区分）別に、住宅に住む一般世帯の割合をみると、「通勤者のみ」（34.6％）が最も高くなっています。全国と比較すると、「通勤者のみ」が12.2ポイント高くなっている一方、「高齢者のみ」は7.4ポイント低くなっています。（図12）

図12 従業・通学時の世帯の状況別住宅に住む一般世帯の割合(H17)



6 都市計画の地域区分

－「住居区域」に居住する人口の割合が、全国と比較して25.0ポイント高い－

都市計画の区域（6区分）別に、居住する人口の割合をみると、「住居区域」（75.5％）が最も高くなっています。全国と比較すると、「住居区域」が25.0ポイント、「商業区域」が8.3ポイント高くなっている一方、「工業区域」は2.2ポイント低くなっています。（図13）

図13 都市計画区域別人口の割合(H17)

